

第三章 閑話休題・教育時評

前章まで、教育・指導の根幹に関わる様々な視点・論点を多様なエッセイと論考で見てきました。でも、どこか物足りません。小さな視点から大きな問題に食いつこうとする狭さがあるような気がします。教育の問題は、やはりもっと大きな所から見なければ事の髄には迫れない。そうしたいので、折に触れて大所高所から「教育時評」を行ってきました。読み返せば、またしても、およそ教育・指導と名指せる行いは、おののくほど重い社会的役割・機能を持っているのだということを、改めて思い知らされます。

拙い「教育時評」集ですが、是非ともお読み頂きたく。
つたな